

要素訓練実施計画書 (評価項目及び評価方法)

【現場実動訓練(MP電源復旧)】

2021年10月
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

1. 要素訓練実施要領

(1) 要素訓練の目的

- 緊急時対策所と連携した事故シナリオに基づく現場実動訓練により、緊急時対策所及び現場対応要員の対応力向上を目的として現場実動及び情報連携訓練を実施する。
- 実働している現場対応要員を評価し、現場における課題の抽出を行い、改善事項を検討する。
- 抽出した良好事例をNRA及び電力各社と共有し、緊急時対策所及び現場の対応能力の向上を図る。

(2) 要素訓練のテーマ

- a. テーマ : 発電機を用いたモニタリングポスト（以下、「MP」という。）の電源復旧
- b. 対応手順：モニタリングポストインサービス操作
- c. 対応手段：緊急時対策所と連携し、発電機を用いてMPの電源復旧

(3) 実施日時

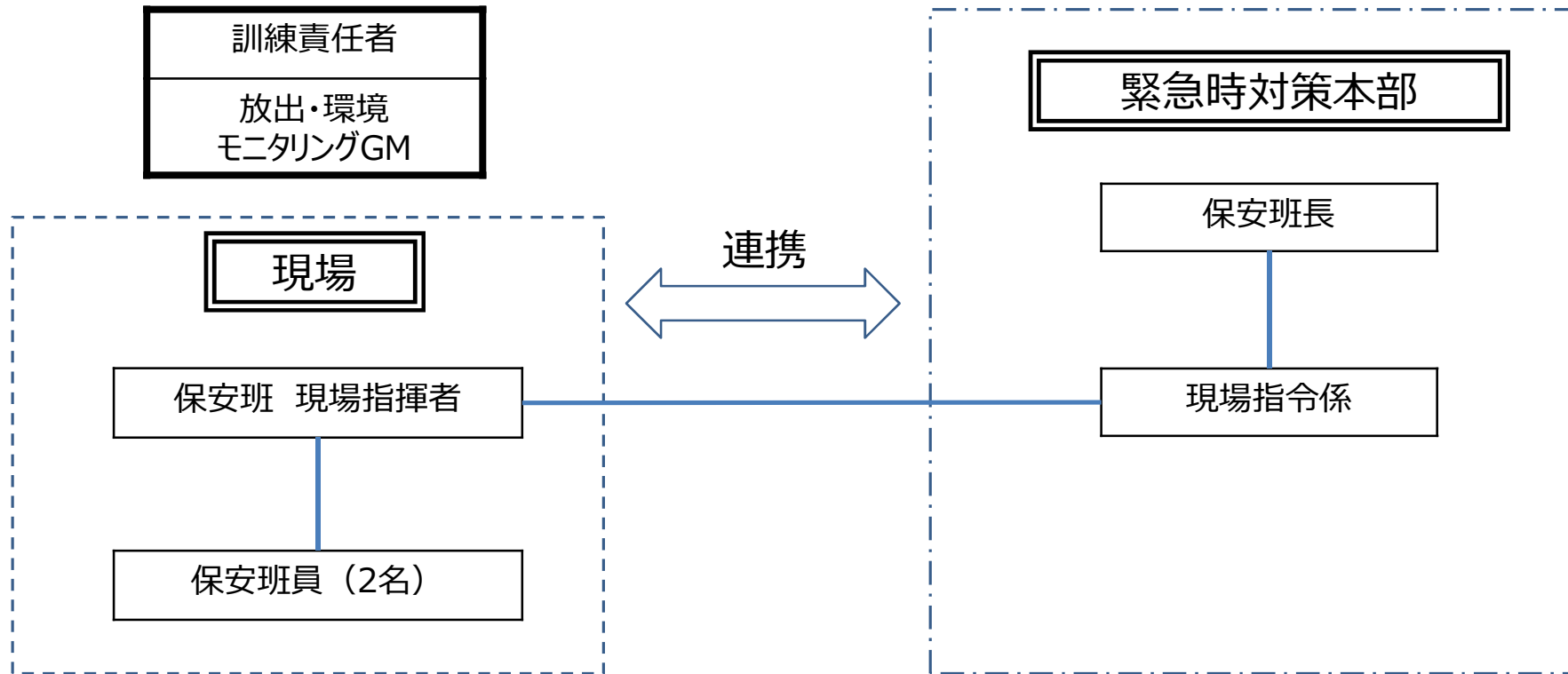
- 2021年10月25日（月） 13:30~15:00


(4) 訓練実施体制


訓練体制図参照

1. 要素訓練実施要領

(5) 訓練体制図



 : 現場実動要員

 : 現場実動に関する緊急時対策本部体制

1. 要素訓練実施要領

(6) 要素訓練の手順

シナリオ情報のためマスキング

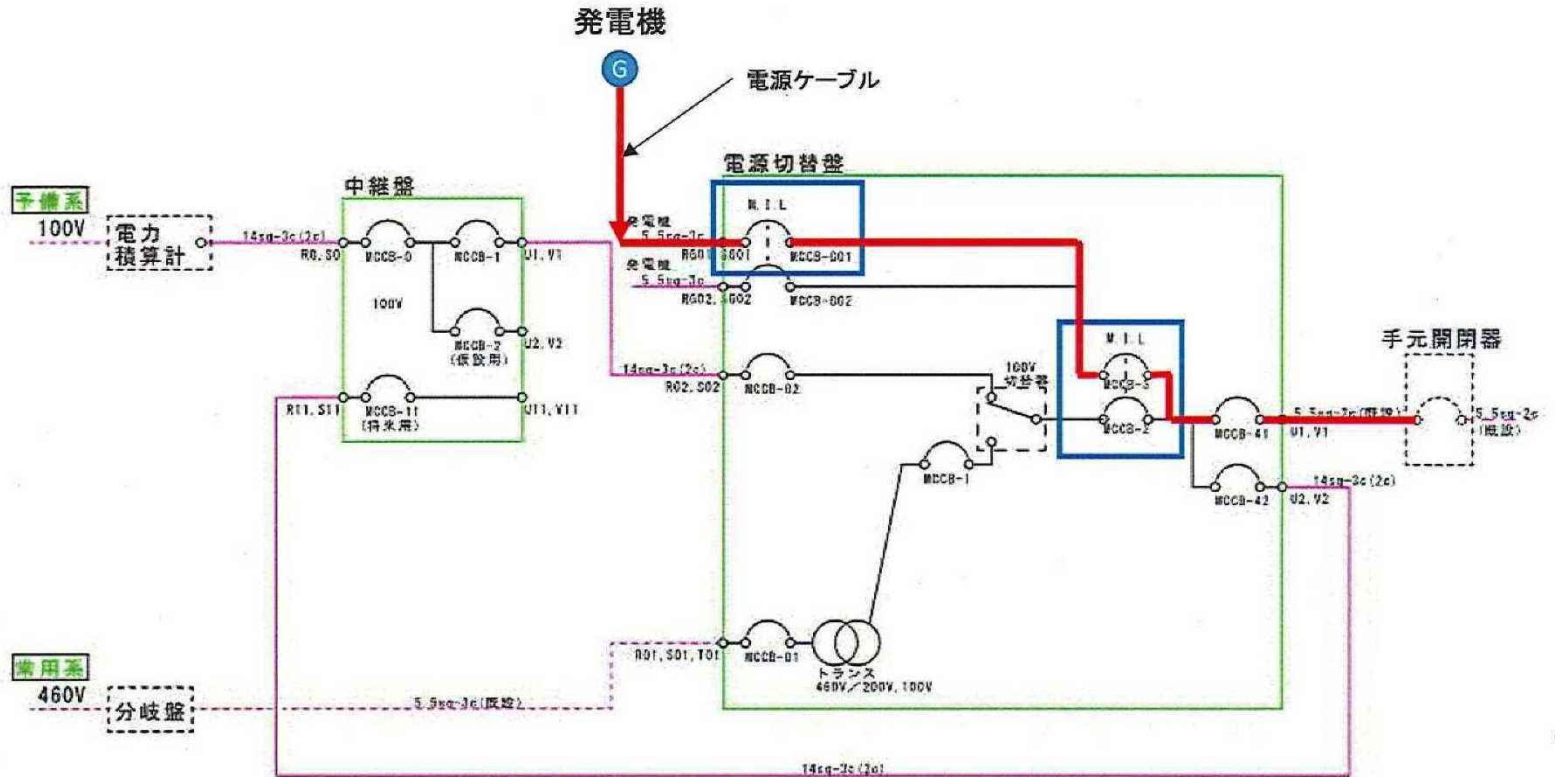
1. 要素訓練実施要領

(7) 現場配置

シナリオ情報のためマスキング

1. 要素訓練実施要領

(8) 電源系統図



中継盤(局舎外)



電源切替盤(局舎内)



: 操作対象MCCB

2. マルフアクションについて

(1) 目的

シナリオ情報のためマスキング

(2) マルフアクションの概要

シナリオ情報のためマスキング

3. 要素訓練 観察実施要領

(1) 訓練観察体制

- 社内評価者 : 1名
- サイト運転検査官殿 : 調整中
- 他事業者 : - ※

(2) 訓練観察時資料

a. 要素訓練実施計画書 [発電所固有資料]

- ✓ 訓練体制, 訓練目標等の観察に必要な基本情報の確認

b. 要素訓練観察チェックシート [発電所固有資料]

c. 手順書 [発電所固有資料]

- ✓ 公開可の内容については事前に送付
- ✓ 公開不可の内容については, 当日配布で回収
- ✓ 訓練設定上の模擬範囲, スキップ範囲を明確化

※ 新型コロナウイルスの影響を考慮し, 他事業者による訓練視察は行わない。他事業者には, 後日送付する映像媒体と(2)の資料一式によりを訓練に対する気付き事項, 良好事例, 改善事項を抽出していただく。

4. 要素訓練評価項目及び評価方法

(1) 評価項目

- ✓ 要素訓練全体(緊急時対策所及び現場実動)での共通的な評価
- ✓ 要素訓練テーマ(MP電源復旧)ごとの共通的な評価
- ✓ 発電所特有の手順に関する評価

※全評価項目の観察, 評価を必須とするものではなく, 観察できた項目の評価を行うものとして整理

(2) 観察記録: 評価の理由となる事実

(3) 気付き事項, 良好事例, 改善事項

- ✓ 気付き事項: 良否の判定に関係しない, 何らかの気付いた事項
- ✓ 良好事例: 特に優れている項目。評価者が自社の改善につなげられる項目。
- ✓ 改善事例: 改善の必要性及び改善方法の提案 (少なくとも方向性)

(4) 評価結果等の反映

- ✓ 評価結果, 良好事例, 気付き事項及び改善事項については, 機能班で実施可否を検討したうえで反映する。
- ✓ 評価結果等は, 必要に応じて他機能班に水平展開する。
- ✓ 必要に応じて改善事項を要素訓練観察チェックシートの評価項目に追加する。